

# 第44回全日本ライフセービング選手権大会 チーム参加募集要項

全日本  
2018

チーム1次要項

第44回全日本ライフセービング選手権大会  
実行委員会

## ■日程会場

- |                        |                  |               |
|------------------------|------------------|---------------|
| ①西日本地区予選会              | 9/8(土)           | 白良浜海岸 (和歌山県)  |
| ②東日本A/B地区予選会           | 9/15(土)・9/16(日)  | 御宿海岸 (千葉県)    |
| ③中部地区予選会               | 9/16(日)・9/17(月祝) | 内海海岸 (愛知県)    |
| ※兼 第5回中日本ライフセービング選手権大会 |                  |               |
| ④本選                    | 10/6(土)・10/7(日)  | 片瀬西浜海岸 (神奈川県) |

■主催 日本ライフセービング協会

■特別協賛 第一三共株式会社

## ■競技種目 [個人種目]

- 01 サーフレース (女)
- 02 サーフレース (男)
- 03 サーフスキーレース (女)
- 04 サーフスキーレース (男)
- 05 ボードレース (女)
- 06 ボードレース (男)
- 07 オーシャンウーマン
- 08 オーシャンマン
- 09 ビーチフラッグス (女)
- 10 ビーチフラッグス (男)
- 11 ビーチスプリント (女)
- 12 ビーチスプリント (男)
- 13 2km ビーチラン (女)
- 14 2km ビーチラン (男)

## [チーム種目]

- 15 レスキューチューブレスキュー (女子4名1チーム)
- 16 レスキューチューブレスキュー (男子4名1チーム)
- 17 ボードレスキュー (女子2名1チーム)
- 18 ボードレスキュー (男子2名1チーム)
- 19 オーシャンウーマンリレー (女子4名1チーム)
- 20 オーシャンマンリレー (男子4名1チーム)
- 21 ビーチリレー (女子4名1チーム)
- 22 ビーチリレー (男子4名1チーム)

## [BLS アセスメント]

- 23 BLS アセスメント (2名1チーム抽選により選出)

- ◇ (下線)は、予選会を行う種目です。
- ◇ チーム種目は各チームから1チームのみのエントリーとします。
- ◇ BLS アセスメントはエントリー制となります (予選会では行わず、研修会を実施する予定です)。この競技に参加しないチームは、チーム総合の表彰対象となりませんのでご注意ください。

◇ BLS アセスメント詳細に関しては、後日、要項を送付いたします。

## ■前年度入賞者のシード権廃止

通年、本大会において前年度入賞者は予選を免除するとしてきましたが、これを廃止します。

シード権により各地域予選会からの勝ち上がり出場枠が圧迫されている現状を考慮し、シード権を廃止することにより各地域予選会を活性化します。

## ■競技規則

大会参加規程「9 競技規則」を参照ください。

## ■予選会

予選会につきましては、下記の通り指定された地区予選会に出場して下さい。

- ◇ 東日本は、AおよびBの2つの地区に分かれています。ご注意ください。
- ◇ クラブのエリア分けは、クラブの主たる活動の拠点がある都道府県とします。
- ◇ エリア分けについては、下記のとおりとします。

1. **東日本A地区** (千葉、茨城、栃木、群馬、埼玉)
2. **東日本B地区** (東京、神奈川、山梨)
3. **中部地区** (静岡、愛知、三重、岐阜)
4. **西日本地区** (富山、石川、福井、京都、滋賀、大阪、奈良、和歌山、兵庫、鳥取、岡山、島根、広島、山口、香川、徳島、愛媛、高知、長野)
5. **全エリア選択可能地区** (新潟、北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島、福岡、大分、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄)

## ■本選出場枠

本選出場枠については、下記の通りとします。

- ・本選出場数について：各種目において決勝、準決勝、予選等の設定から人数を割り出します。決勝、準決勝、予選等の設定については、各種目の予選会エントリー数や種目の特性を鑑み設定します。

<例>

種目A 決勝 15名、準決勝 45名 (1H15名×3H、5UP)、予選 135名 (1H15名×9H、5UP)  
本選出場 135名

- ・各予選会での本選出場枠について：本選出場数を各地域の種目エントリー数にて割合を均等化します。均等化出来ない場合は、近づけます。また、エントリー数が2以上あれば、均等化にかかわらず最低2は与えられます。

## ■タイムテーブル

参考までに、2017年度実施版のタイムテーブルを掲載します。

詳細は、エントリー集計後の2次要項でお知らせいたします。予選会は、例年通り本選出場者を決定する大会として決勝は行いません。

## ■得点と表彰

本選では、各競技上位1~8位を入賞とします。1~3位はメダルを授与し表彰式で表彰します。また、チーム総合得点により、上位1~8位を入賞とし、1~3位は表彰状を授与し表彰式で表彰します。

なお、ライフセービングチーム最優秀の証として、総合優勝チームには日本ライフセービング協会理事長杯が贈られます。

決勝の結果に対して得点を加算し、個人、チーム種目とも同じ得点とします。

ブロッキングシステムを採用します。

同種目と同じチームの選手が複数入賞した場合、最上位選手のみ加算され、下位選手の得点は加算されません。また、ブロッキングシステムによる得点の繰り上りはありません。

配点は以下の通りです。

1位-8点、2位-7点、3位-6点、4位-5点、5位-4点、6位-3点、7位-2点、8位-1点

例・1位と2位が同じチームだった場合

1位-8点、2位-加点なし、

3位-6点、4位-5点、5位-4点、6位-3点、7位-2点、8位-1点

1. チームの総合得点が同点の場合は、1位の種目の多いチームを、1位の種目が同数の場合は、2位の種目の多いチームを・・・というように総合順位を決定します。
2. 決勝で失格の場合は0点とします。
3. 総合順位は、実施種目の70%以上の最終競技結果をもって成立するものとします。

オープン選手の参加による得点への影響について

決勝進出人数が限られている種目に、オープン選手が参加することで8位までの順位が決められない場合、その順位と得点はつかないものとします。

### ■各予選会の審判員の選出（本大会に選手登録をしていない方）

予選会への参加チームは以下のとおりに認定審判員を、チームエントリーと同時に選出しなければなりません。認定審判員を選出していないチームはエントリーが受け付けられません。

また、大会期間を通じて参加できることを原則とし、例外的に参加日ごとに審判員が入れ替わることも可能とします。しかしその場合も、交通費は距離が近い方の1名分の交通費（上限¥5,000円）のみを支給します。準一般会員の審判員の方には交通費の支給はございません。なお、選出した審判員が参加できなくなった場合は、必ず代替わりの方を選出してください。選出人数については、下記のとおりとします。

【西日本地区予選会・中部地区予選会】

◆選手 5~20名=1名    ◆21~40名=2名    ◆41名以上=3名

【東日本地区予選会A・B】

◆選手 5~15名=1名    ◆16~30名=2名    ◆31名以上=3名

【申込み】

参加する審判員は、デジエントリーにより審判員参加申し込みを行うこと。

申込み締切日：2018年8月8日（水）23：59まで

### ■本選の審判員の選出

本選への参加チームは以下のとおりに認定審判員を、選出しなければなりません。

認定審判員を選出していないチームは大会に参加できません。

各予選に選手としてエントリーしていた方でも本選に出場しない方（個人種目・チーム種目共）は、本選の審判員参加を認めません。

また、大会期間を通じて参加できることを原則とし、例外的に参加日ごとに審判員が入れ替わることも可能とします。しかしその場合も、交通費は距離が近い方の1名分の交通費（上限¥5,000円）のみを支給します。準一般会員の審判員の方には交通費の支給はございません。なお、選出した審判員が参加できなくなった場合は、必ず代替わりの方を選出してください。選出人数については、下記のとおりとします。

【本選】

西日本地区・中部地区

◆選手 5~20名=1名    ◆21~40名=2名    ◆41名以上=3名

東日本地区予選会A・B

◆選手 5～15 名=1名    ◆16～30 名=2名    ◆31 名以上=3名

#### 【申込み】

参加する審判員は、デジエントリーにより審判員参加申し込みを行うこと。

申込み締切日：2018年9月21日（金）23：59まで

#### ■海外選手（日本国以外に国籍を持つ者・日本国居住者は除く、また日本国に住民票登録のない日本国籍を持つ者）の出場登録について（詳細別紙参照）

大会参加規定に準じている海外選手は国内クラブの一員として出場登録を認めます。満たさない場合でもオープン参加は可能ですので、別紙「オープン参加規定」をご参照ください。

#### ■エントリーについて

- ◇ 予選会にエントリーせずに本選会のチーム種目に出場（エントリー）することはできませんので、本選会のみチーム種目に出場する予定の選手も、予選会にエントリーください。
- ◇ 第10回全日本ユースライフセービング選手権大会およびユースライフセービングチャレンジ in 下田【高校生の部】の「サーフレース」・「ボードレース」・「ビーチフラッグス」・「ビーチスプリント」・「2kmビーチラン」に出場し、1位～8位までに入賞した選手（中学生）においては、本大会の地区予選会に出場することができます（但し、入賞した種目のみで、チーム種目は不可）。

#### ■参加費

- ◇ 東日本A・B予選会/西日本予選会/中部地区予選会/本選  
選手1名につき8,000円（高校生・中学生については選手1名につき4,000円）とします。なお、個人種目のエントリーは選手1名につき2種目までとします。（チーム種目、BLSアセスメントはこの限りではありません。）

チーム種目については、1種目につき5,000円が必要です。

- ◆ 申込締切後であっても、エントリーミスによる出場種目の変更が可能です。

但し、申込締切時にエントリーされている（選手登録している）方のみ対象とし、新たな選手のエントリーは認められません。

変更手数料として、1つの変更に付き、3,000円（※高校生・中学生一律）の手数を頂戴いたします。なお、チーム種目については、変更手数料の他、当初エントリーしている種目数よりも増える場合には、1つの種目増加につき、5,000円別途必要となります。

振込先は参加費と同様の口座です。期限内に必ず振込ください。

期限内に変更手数料の振込のない場合は、変更を受付ません。

例： 種目を1つ変更=+3,000円      種目を2つ変更=+6,000円

種目を2つ変更（+6,000円）&当初よりもチーム種目が1つ増加（+5,000）=+11,000円

- ◇ 出場種目の変更申込後に、出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されません。
- ◇ 参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも、変更手数料は返還されません。

#### ■宿泊/食事

- ・西日本地区予選会

【宿泊・食事】各チームでご用意ください。

- ・中部地区予選会

【宿泊・食事】各チームでご用意ください。

- ・東日本地区予選会

【宿泊】御宿町観光協会に別紙にて直接お申込み下さい。

【食事】各チームで用意ください。

## ■代表者会議

競技上の注意事項や大会に関わることについて説明をする代表者会議を開催します。詳細につきましては2次要項でご案内します。チーム代表者は必ずご出席ください。なお、やむを得ずチーム代表者が出席できない場合は、参加選手で代表者に準ずる方の出席をお願いします。

## ■ラッシュガードの着用について

公式競技会におけるオーシャン競技・サーフ種目におけるラッシュベストの着用は義務となります。ラッシュベストの着用なしでの参加は認められません。

## ■申込締切日（チーム、審判員）

提出方法提出書類等の概要		提出方法	提出期限(締切)
データ/書類	●チーム/選手エントリーデータ (チームエントリーフォームA・B・C)	メール	8月8日(水)23:59 受信分まで
	●同意書 (チームエントリーフォームD)	郵送	8月8日(水)当日消印有効
	●PR アンケート		
	●外国人選手出場登録 ※該当者のみ		
	●審判員申込	デジエントリー <a href="http://dgent.jp/">http://dgent.jp/</a>	各予選会 2018年8月8日(水)23:59 まで 本選 2018年9月21日(金)23:59 まで
●(希望者のみ) エントリーミスによる出場種目の変更の 申込エクセルデータ	メール	8月13日(月)各チームのエントリー 確認データをホームページ上にアップ ロード掲出しますので、各チームご 確認ください ～ 8月17日(金)23:59 受信分まで	
振込	●予選会参加費の振込	三菱UFJ銀行 新橋支店 (433) 普通 5298841 ザイ)ニホンライフセービングキ ョウカイ	8月8日(水)までに振込完了  (本選に参加する審判員 2018年 9月21日(金)までに振込完了)
	●選手の個人年会費 (2018年度 正会員/一般会員/高校生会員)	ゆうちょ銀行からの振込 00100-3-161328 他の金融機関からの振込	
	●チームの団体年会費 (2018年度 団体正会員 or 団体一般会員)	ゆうちょ銀行 019 支店 当座 0161328 特定非営利活動法人日本ライ フセービング協会	
	●(エントリーミスによる出場種目の変更 希望者のみ) 変更手数料	三菱UFJ銀行 新橋支店 (433) 普通 5298841 ザイ)ニホンライフセービングキ ョウカイ	8月17日(金)までに振込完了

注)

※締切りを過ぎたものや書類の不備、上記の提出書類が揃っていない場合は、受け付けませんので、ご了承ください。  
※参加規定を満たしていない場合、参加費の未納等により、大会参加を受け付けられない場合がありますのでご注意ください。  
※参加申し込み締切り日までに、会員登録および会費納入の手続きをされていない団体・個人会員の方(チーム選出の認定審判員も含む)は、本大会に出場できませんので、予めご了承下さい。

#### ■提出先

- メール提出先 ; compe@jla.gr.jp  
※必ず受信完了メールが届きます。1週間経っても JLA 事務局から受信完了メールが届かなければ、お手数ですがお電話にてお問合せ下さい。
- 郵送提出先 ; JLA 事務局  
〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップスビル 1F

#### ■情報発信のための専用 Facebook ページの開設

本大会専用の Facebook ページを開設しました。こちらのサイトは、大会関係各位へ 2 次的に情報提供するために運用します。

<https://www.facebook.com/the44thjnlc/@the44thjnlc>

## 第 44 回全日本ライフセービング選手権大会 参加規程

### 1 参加資格

競技者の参加資格は下記の 4 点を共に満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 競技者は、大会初日当日満 15 歳以上でなければならない。(但し中学生を除く)
- 1-2 競技者は、ライフセービングを志し、出場する競技会の過去 1 年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、協会が認める教育活動に 25 時間以上従事した者でなければならない。(但し中学生を除く)
- 1-3 競技者は、本協会の個人正会員、個人一般会員、もしくは個人高校生会員として登録されていなければならない(申請中も含む)。※申込締切期日までに、必ず年会費をお振込ください。(但し中学生を除く)
- 1-4 競技者(一般)は、ベーシック以上の資格を所有していなければならない。  
競技者(高校生)は、BLS および WS 以上の資格を所有していなければならない。  
※申込締切期日までに、必ず規定以上の資格を取得していること。

### 2 チーム構成

- 2-1 チームは、本協会の団体正会員、若しくは団体一般会員として登録され、本協会に登録されている団体名で出場しなければならない。また、1 団体からの出場は 1 チームとする。
- 2-2 チームは、同じクラブに所属する競技者により構成されていなければならない。

### 3 チーム名

参加チーム名は団体正会員もしくは団体一般会員名とする。

### 4 出場登録

- 4-1 参加選手は個人種目、チーム種目にかかわらずあらかじめ所定の用紙を用い出場種目を登録しなければならない。なお、登録後(エントリーミスによる出場種目の変更後)の出場種目の変更及び未登録の種目への出場はできない。
- 4-2 登録種目数は、1 人 2 種目を限度とする(但し、チーム種目、BLS アセスメントは除く)。

### 5 チーム代表者

各参加チームはチームを代表する者としてチーム代表者を 1 名おかななければならない。なお、チーム代表者と選手はこれを兼任することができる。

### 6 チームユニフォーム及び競技中の衣類

- 6-1 各チームは、式典や表彰式および競技に適したユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードを持た

なければならない。

- 6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
- 6-3 **キャップは、競技会の申込締切（8月8日）前までに本協会に登録が完了していなければならない。**  
※キャップ登録は、すでに登録を済ませ変更がない場合は必要ない。
- 6-4 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

## **7 参加費**

- 7-1 参加費は、参加申し込みの締切日までに支払わなければならない。
- 7-2 変更手数料は、あらかじめ指定された期日までに支払わなければならない。

## **8 競技器材**

- 8-1 競技で使用する器材はライフセービング競技規則 2018年版「第7章 器材の規格」の基準を満たさなければならない。
- 8-2 オーシャン競技で使用するレスキューチューブは、主催団体が用意するものとする。
- 8-3 主催団体は、競技者の器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか、または失格となる。
- 8-4 競技者は、主催団体から器材にステッカー等の標示を添付する指示があった場合は、それに従わなければならない。

## **9 競技規則**

- 9-1 以下の点を除いて競技は「ライフセービング競技規則（2018年版）」（2018年7月13日発行）に則って行う：
- ・決勝はA決勝、B決勝に分けず、1ヒートのみとする。
  - ・参加資格にかかる年齢は満年齢とする。
  - ・ハンドラーは競技者と共に指定された時刻までに招集場所に集合し、審判員の指示により整列すること。
  - ・予選後のラウンド、準々決勝・準決勝の組み合わせ配置は、直前の予選・ラウンドの結果に関係なく、ランダムに行われる。
  - ・サーフ種目に出場する選手・ハンドラーは、協会が指定するピンクのラッシュベストを着用しなければならない。

## **10 審判員の選出**

- 10-1 西日本、中部、東日本の各予選および本選に関して、それぞれのチームが出場する予選会および本選に参加するチームは認定審判員を選出しなければならない。

## **11 代表者会議**

- 11-1 大会開催に先立ち代表者会議を実施するので、チーム代表者は必ず出席すること。なお、やむをえずチーム代表者が出席できない場合は、同チームの参加選手で代表者に準ずる者が出席すること。

## **12 その他**

- 12-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像を、ライフセービングの広報の目的で使用することがある。
- 12-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。
- 12-3 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

（ 以上 ）